

報道関係各位

2023年8月23日
聖学院中学校・高等学校

生徒たちが社会課題に向き合う— 聖学院中高のタイ研修旅行報告書『この小さき者に』が発行されます

聖学院中学校・高等学校(東京都北区、校長:伊藤大輔)は、昨年(2022年12月)3年振りに実施されたタイ研修旅行にて、生徒たちが社会課題に真摯に向き合い、異文化交流を通じて得た洞察をまとめたタイ研修旅行報告書『この小さき者に』を、今年(2023年)の9月に発行いたします。

このレポート集は、聖学院中高の生徒たちがタイ研修旅行で経験した実践と学びを綴ったものです。我々の使命である教育の一環として、生徒たちはタイの山岳民族の社会課題に向き合い、その解決策を模索する過程で、個人的な成長と共に社会への貢献の重要性を学ぶことができました。

コミュニティ形成、国境周辺地の教育、無国籍者の就業、ビジネスによる支援の可能性など、生徒たちが研修旅行中に肌で感じてきた課題をレポートとエッセイにまとめました。紀行文には国境線上で眺めた風景、山岳民の児童生徒たちとの交流が生徒目線で綴られています。

タイ研修旅行報告書『この小さき者に』掲載内容:

【講演録】

- 中野穂積氏 『循環する農業・学習する村、そして生き物も人もすべてが生きて生かされる社会』
- アリア・ラッタナウィチャイクン氏 『受け取ったチャンスを広げて与える』
- 戸邊治朗先生 『国境線を触りに行こう』

【生徒レポート】

- 『タイの貧困問題へのビジネスによる経済支援と研修での学び』、
- 『老後のタイ移住を両親に勧められるか』、
- 『どうして無国籍者が生まれるのか』 他

【生徒・教員エッセイ】

- 『私は幸せな時間を誰と共につくるのだろう』、
- 『遠い存在を身近に』 他

【紀行文】

- 『地図の線を足でなぞる』 メーサイ、ゴールドントライアングル、
- 『Dilemma』 アプアプロジェクト、『最高の青春』メーコックファーム 他



その他、生徒・教員エッセイや研修のドライビングクエスト「私の願うべき願いとは何か?」に対する全生徒の回答をタイ語訳つきで掲載しています。

一般の皆様には、11/2・3の聖学院中高記念祭にて、この書籍を販売します。聖学院中高の生徒たちの成長と努力が詰まった『この小さき者に』をお手に取り、ご覧いただけますようお願いいたします。書籍の販売収益はタイ、チェンライのメーコック財団、アプア財団、ルンアルン(暁)プロジェクトへ寄付されます。

【本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み先】

学校法人聖学院 広報センター : pr_h@seigakuin-univ.ac.jp



※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入、SDGsをめざした活動を行っています。

※SDGs…2030年までの実現をめざし掲げられた、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」

《参考》

学校法人聖学院

創立 1903年

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

【教職員の概要(本務)】

大学教員 94人

中高教員 108人

小学校教員 21人

幼稚園教員 15人

教員計 238人

職員 122人

※教職員数は2022年5月1日現在(大学院ならびに総合研究所教員は大学教員の内数)

【聖学院各校情報】

所在地 学校法人聖学院

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

聖学院大学・聖学院大学大学院 学生数:2,335人

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1-1

聖学院中学校・高等学校 生徒数:913人

〒114-8502 東京都北区中里 3-12-1

女子聖学院中学校・高等学校 生徒数:686人

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

聖学院小学校 児童数:426人

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1

聖学院幼稚園 児童数:114人

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-2

聖学院みどり幼稚園 児童数:107人

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷 820

※学生・生徒・児童数は2022年5月1日現在